

空は晴れる

野田市立第一中学校 3年 松本 心晴

山はどっしりと大きく、緑色の木々をなびかせ、とてもすがすがしい香りがする。海はキラキラと輝き、水着が無くても膝の辺りまでジャブジャブといつでも入る事が出来る。私の大好きな祖母の住む広島の家は、山と海に囲まれていて一年に一度夏休みに必ず行ける私の大切な場所だ。

一昨年前の七月、私は不安で眠れない夜を過ごした。西日本豪雨と命名され、死者二百六十三名、建物被害は、五万棟を超えたこの大災害は、広島に住む祖母の家も直撃した。

「おばあちゃん崖から離れた部屋にいてよ。」  
と、電話で伝えるのが精一杯だった。祖母の家の後ろは、とても大きな山がそびえ立っている。母は、

「斜面が補強工事されていて良かった。」  
と、言いながら心配そうな顔をしていた。

翌朝、祖母の大丈夫という声を聞いた時の安堵感は今でもはっきりと覚えている。その夏広島に向かった私達は、自然災害のすさまじさを見せつけられた。車ほどの大きな岩は山から転げ落ちて道をふさぎ山道は途中から崩れ落ち、道がなくなっていた。祖母の家に被害はなかったが、祖母が大切にしていた畑は、土砂で流されていた。目の前の景色が元に戻るのか、想像が出来なかったと同時に、がれきの撤去や道路の補修などに、たくさんの重機が動いている事に希望が見えた。

自然災害などの復興には税金が使われている。人が傷つき、目の前の現実と向き合うのが困難な状況の時、税金が使われる事は困った人達を助けられる大切な力だ。祖母の家を守った裏山の補強工事にも税金が使われていると教えてもらった。税金は私達の生活の中で、誰かを助け、誰かを支え、誰かを笑顔にしている。それは、自分自身の事でもあるし大切な人達の事でもある。守ったり守られたりしながら支え合って生きている。みんなに幸せに生きる権利があって、助け合う優しい心がある。平和な毎日は願うだけでは叶わない。自分達で作り出していくものだ。税金はその土台となり、毎日を支えてくれる大切な役割を果たしているのだ。

西日本豪雨は、たくさんのボランティアの力もあり、みんなが上を向いて頑張った。あの時、私は祖母に何かをしてあげられたのだろうか。母に聞くと、  
「心晴の笑顔はみんなに力をくれるんだよ。」  
と、言ってくれた。私に出来る事はまだ小さいけれど税金と同じ様に、誰かを支えられる強い人になりたい。

祖母は畑を復活させ今では、作った野菜を千葉の私の家に送ってくれている。  
「心晴ちゃん、空はいつか晴れるよ。」  
といつも一言、私に大切なメッセージをそえてくれる。私達の未来は晴れると信じている。一人一人が納税という形で支え合い、安心した日常を送れる事に感謝しなければならぬと心から思った。